

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会
2005年度第1回常任幹事会議事要録(案)

日時：2005年4月13日(水)14時～17時30分

場所：名城大学

出席：金城学院大学(鈴木 卓美)、大同工業大学(光永 猛)

中京大学(中河原 省三)

東海女子大学・東海女子短期大学(児玉 孝乃)

愛知大学(三浦 文博)、愛知淑徳大学(木下 恵美子)、中部大学(松林 正己)

南山大学(栗山 義久、西尾 雅樹)

名城大学(小嶋 仲夫、飼沼 敏雄、小川 明秀) 敬称略

議事に先立ち、理事校名城大学図書館長(小嶋)の挨拶ならびに出席者の自己紹介が行なわれた。また議事の進行は理事校名城大学図書館長(小嶋)が担当し、下記の議題を協議した。

<1> 2005(平成17)年度東海地区協議会総会について

[報告事項]

1. 2004(平成16)年度東海地区協議会事業報告

事業報告に先立ち前理事校南山大学(栗山)より下記報告が行なわれた。

- ・ 予算のたて方の中で賛助会費としていたものを性格が不明瞭なので館灯広告掲載料に改める。
- ・ 各委員会へ交付金として渡していたものを会計の明瞭化を図るために支援費として計上することとなった。
- ・ 朝日大学が2009年～10年にかけて東海地区協議会の理事校の担当校であったが、朝日大学側から学生数激減により辞退の申し出があったので、今年度の総会で協議されることとなった。
- ・ 相互協力委員会・情報化委員会を一本化して、新しい委員会を作ることとなった。
- ・ 今後地区の役員校を随時決めていく。

上記報告の後、資料(p.3～6)に基づき報告が行なわれた。

2. 2004(平成16)年度東海地区協議会研究会事業報告

前研究会幹事校中京大学(中河原)より資料(p.7～9)に基づく報告と、東海地区で行なわれる研究会・研究集会について、主催元が認めれば当該地区以外でも参加できる点と近年増加の一途をたどる派遣・嘱託職員の参加についても認めることが確認され、その点について今年度の総会で報告することとなった。

3. 2004(平成16)年度東海地区協議会相互協力委員会事業報告
相互協力委員会委員長校金城学院大学(鈴木)より資料(p.10~13)に基づく報告と研修会の報告を館灯に掲載したのでページ数が大幅に増加したことが報告された。
4. 2004(平成16)年度東海地区協議会情報化委員会事業報告
情報化委員会委員長校愛知大学(三浦)より資料(p.14~15)に基づき報告が行なわれた。
5. 2004(平成16)年度東海地区協議会図書館管理・運営実務責任者会議報告
前理事校南山大学(栗山)より資料(p.16)に基づき報告が行なわれた。
6. 2004(平成16)年度協会関連事項報告
 - 1) 部会・協会関係および関連団体
前理事校南山大学(栗山)より資料(p.17~19)に基づき報告が行なわれた。
 - 2) 協会賞審査委員会・研究助成委員会
協会賞審査委員会・研究助成委員会委員長校金城学院大学(鈴木)より、資料(p.21)に基づき報告され、引き続き前理事校南山大学(栗山)より第2回東西合同役員会において原案が承認されたとの報告が行なわれた。ただ研究助成については1件の申請があったが、研究ではなく出版に対する助成申請であることを理由として却下されたことが報告された。
 - 3) 国際図書館協力委員会
国際図書館協力委員会前委員長校中京大学(中河原)より資料(p.22~23)に基づく報告と、例年春に開催されていたシンポジウムが秋に延期されたことが報告された。
 - 4) 協会ホームページ委員会
協会ホームページ委員会委員長校南山大学(栗山)より資料(24~26)に基づく報告とサーバーの容量改善並びに委員会構成人数の変更について報告があった。また、図書館サービス・システム委員会については理事校を通じての利用申請書の提出、研究会についてはメンバーの変更を届けることを確認した。
 - 5) 永年勤続表彰制度検討委員会報告
永年勤続表彰制度検討委員会委員長校南山大学(栗山)より、資料(p.27)に基づき、2006年度以降勤続年数での表彰制度を廃止することを全国総会で提案する旨の報告と新たな表彰制度の検討が必要である旨の報告が行なわれた。
 - 6) 私立大学図書館協会2005年度西地区部会総会について
理事校名城大学(飼沼)より資料(p.29~30)に基づき報告され、今年度も館長懇話会が開催される旨の報告が行なわれた。

[協議事項]

1. 2004(平成16)年度東海地区協議会決算(案)および監査報告

このことについて、情報化委員会委員校（三浦）より、ソフトウェア購入費の修正の申し出があり、その影響によって操入金の若干の減少が生じた。その修正をふまえて、前理事校（栗山）より資料（p.31）に基づき、決算案について説明が行なわれた。併せて資料（p.32～37）に基づき研究会、相互協力委員会、情報化委員会、図書館管理・運営実務責任者会議の決算案について説明が行なわれた後、前監事校金城学院大学（鈴木）より決算案について4月13日に会計監査を行い、適正であると認められたとの報告があり、決算案は承認された。

2. 図書館サービス・システム委員会設置および規程等改正について

理事校（飼沼）より資料（39～43）に基づき、事業活動の一本化、職員数の減少等により相互協力委員会と情報化委員会を統合し、新たに図書館サービス・システム委員会を発足する旨の説明があった。それに伴い相互協力委員会規程と情報化委員会規程を廃止し、新たに図書館サービス・システム委員会規程を起こすこととなった。図書館サービス・システム委員会の活動の実態がわかりにくいという提案が中部大学（松林）からあったが、協議ののち、図書館サービス・システム委員会の発足が承認された。併せて賛助加盟会費は館灯広告掲載費に、東海地区協議会から各委員会へ配分していた交付金を支援費に改める規程改正についての報告がされ、総会で承認を得ることが確認された。

3. 2005（平成17）年度役員校および委員校（案）について

理事校（飼沼）より資料（p.45）に基づき報告が行なわれ承認された。

4. 2005（平成17）年度東海地区協議会事業計画（案）

理事校（飼沼）より資料（p.46）に基づき、今年度の事業活動の報告があり、承認された。また、従来行なわれてきた全国名簿の作成については廃止の方向にもっていくことが確認された。

5. 2005（平成17）年度東海地区協議会予算（案）

情報化委員会において決算の修正（前年度繰越金413,761を413,401に修正）があったので、それをふまえて理事校（飼沼）より資料（p.47）に基づき、説明があり承認された。また、新たに発足した図書館サービス・システム委員会に20万円、図書館管理・運営実務責任者会議に前々年度と同額の12万円を配分することも併せて報告された。

2006年度より館灯の配付は1大学につき2冊（分館がある場合は2冊加える）とし、従来館灯に掲載していた職員名簿を廃止し、加盟館の記載のみとすることが承認された。また、中部大学（松林）より、館灯の刊行費が広告掲載料に大きく依存していることに触れ、今後益々企業の経営環境が厳しくなる一方で、今後館灯をどのように扱っていくかを検討する段階にきているのではないかと指摘があった。

6. 2005（平成17）年度東海地区協議会研究会事業計画ならびに予算（案）

研究会幹事校東海女子大学（児玉）より資料（p.50～52）に基づき、「多様な利用

者に向けた大学図書館運営の課題」をテーマにした活動と予算案について説明があり承認された。なお、アンケートの協力依頼と第 1 回の講演者に苦慮しているので人選の協力もお願いしたいとの報告もあった。

7. 2005（平成17）年度東海地区協議会図書館サービス・システム委員会事業計画ならびに予算（案）について

図書館サービス・システム委員会委員校（鈴木）より資料（p.53～55）に基づき、今年度の事業計画と予算案について説明があり承認された。

8. 2005（平成17）年度図書館管理・運営実務責任者会議事業計画ならびに予算（案）について

理事校（飼沼）より（p.56）に基づき、今年度の事業計画と予算案について説明があり承認された。なお、今後図書館サービス・システム委員会と研究会との活動内容が重複した場合、合同開催も視野に入れる必要があるとの報告があった。

9. 2005（平成17）年度以降の東海地区協議会役員校および私立大学図書館協会理事校ローテーションについて

理事校（飼沼）より資料（p.57）に基づき、2011年度以降の理事校ローテーションの案が提示され承認された。2004年度の第2回の常任幹事会において朝日大学の2009、2010年の理事校辞退が承認されたので、それを受けて今年度の総会において正式決定されるとの報告があった。

< 2 > その他

- ・今後、総会以外の開催通知、議事録送付等はメールで行なうことが確認された。
- ・各書式のフォーマットが不統一との意見が出たので今後改めていくこととなった。
- ・館灯の部数、館灯での名簿掲載廃止、派遣・嘱託職員の研究会への参加の是認について総会で報告事項として伝えることが確認された。

以 上